

## 日本アルミニウム協会・高橋徹会長、2010年頭所感

日本アルミニウム協会の高橋でございます。皆さん、新年明けましておめでとうございます。軽金属四団体を代表致しまして、ひとと年頭のご挨拶を申し上げます。

毎年、年頭にあたりましては、今年はどんな年になるのかと不安と期待の入り混じった複雑な気持ちとなりますが、皆様はどんな思いで新年を迎えたでしょうか。

昨年はリーマンショックの影響で、大変厳しい年明けであったことをあらためて思い起こします。リーマンショック直前の株価は12,200円でしたが、ショック以来下落を続け、年明け5日には、9,043円、更に3月10日には最安値の7,054円をつけました。その後、春頃から回復傾向を示して参りましたが、多くの皆様は回復の実感をつかめないのでないでしょうか。一部では二番底の心配も囁かれるなど依然として楽観できない状況にあります。

然しこういう時にこそ出来ることもあるのではないかでしょうか。また、将来に備えた手を打つことも不可欠です。

アルミニウム協会の場合、昨年「アルミニウム技術戦略ロードマップ」を策定しました。今後25年間を見据えて、アルミニウム産業の研究開発の方向性を示し、アルミニウム産業の長期的な展望をまとめたものであります。大学の先生方やアルミのユーザーのご意見、経済産業省のアドバイス等も賜わり、協会の委員会が取りまとめたものです。ロードマップは2035年までを展望しておりますが、毎年見直すことによって、世の中の動きをより的確に反映したものとして参ります。

ロードマップを活用することによって、新たなアルミの需要開拓につなげることが出来ると確信します。

また、今年度で経済産業省からの委託研究事業「製造中核人材育成事業」が終了し、来年度からはその成果をもとに協会で人材育成の講座を運営して参ります。この画期的な事業を通してアルミ業界の将来を担う人材育成に取り組んで参ります。3年間の委託研究の機会を与えて下さった経済産業省の関係者の皆様およびご協力をいただいた大学の先生方には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

昨年、私は中国アルムフォーラムに出席して、中国のアルミ産業の元気さを垣間見て参りました。アルミの需要は10年後には4,400万トンに伸びると言う報告がありました。現在の需要1,400万トンの実に3倍の伸びです。中国のアルミメーカーは着実に技術力を高めていますので、今後中国のアルミメーカーとの競争は激しさを増すでしょう。然し、そうした競争によってアルミ産業全体の底上げがなされれば、業界にとっては大変有意義なことであります。

私は、関係諸官庁ならびに会員の皆様と連携を保ちながら、困難な状況を克服して参りたいと考えておりますので、引き続き皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年1年も厳しい年となるでしょうが、業界一丸となってこの難局を乗り切ろうではありませんか。皆様のご健勝とわが国アルミ産業の益々の発展を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 12月の銅・銅合金スクラップ月間レポート及び1月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

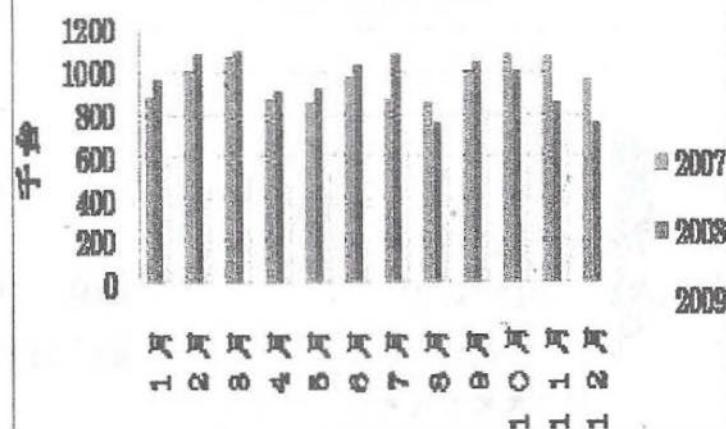


### スタグフレーションか、景気回復か

**概況:**前半、ドバイショックによるスペイン、ギリシャなどの企業格下げの不安要因で始まるも11月の米貿易赤字縮小、米大手銀の公的資金返済、そして中国の11月の銅輸入が予想を上回る10.9%増を好感、明るい幕開けとなった。後半は11月の米鉱工業景況感指数や米・中両国のPMI指数の上昇や中国精錬銅輸入の予想を上回る上昇、チリコデルコのスト突入の好材料から年初来高値を更新し、LME銅も7300ドルまで上昇。国内銅建値は64万から68万へ急騰、銅スクラップも2-3万円ほど上昇となった。

11月のマクロ指標:日本自動車工業会発表に

### 自動車生産実績



による自動車生産台数は前月比4.7%増の85万9677台(前年の前月比16%減)。また国土交通省発表の新設住宅着工戸数は同1.8%増の6万8198戸数であった(前年の前月比8.5%減)。貿易関連指標では、財務省貿易統計は、輸出では、電気銅が前月比2.6%減の3万5650トン、銅スクラップが同0.6%増の2万7477トン、輸入では、電気銅が同8%増の4873トン、銅スクラップが38%増の8240トン。

足元国内の指標に目を移すと、日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比1.6%増の7万100トン(前年の前月比12%減)、日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比4.7%減の5万8700トンであった(前年の前月比10.6%減)。

見通し:11月の伸銅品生産、自動車生産も前月比で上昇。回復遅れのあった新設住宅着工数とも3ヶ月連続上昇したことから本格的な回復感が台頭。価格は銅建値ベースの銅・同合金スクラップは過剰流動性資金による急騰であり、2月末に米に金融緩和供給プランが予定どおり終了すれば一気に急落する可能性がある。

1月5日現在、年最終建値が5万円上げの73万円となっているが、2月の旧正月明け中国の景気

対策期待及び民衆党の住宅エコポイント政策などからテクニカル、需要ともに堅調との予測から銅建値で75万円、スクラップでプラス1万円程度の上昇と予測。

## おまかせ下さいステンレスくず

## 価格が①の②です

☎(06)6682-6881 伊原・親川まで

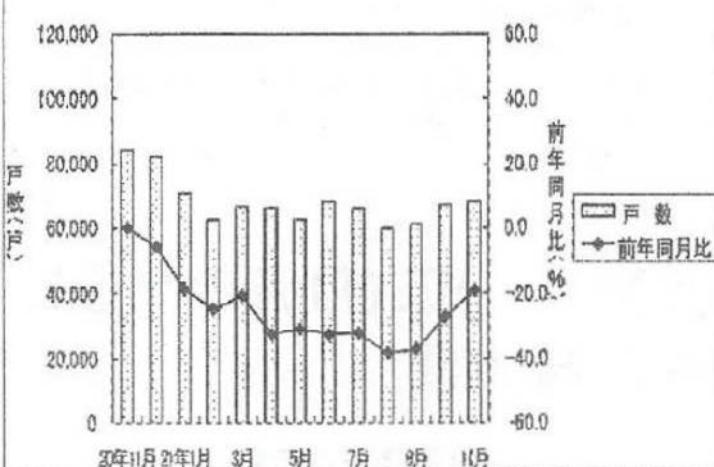
## 南港新ヤード・オープン

大阪南港E-4バースにて  
荷受けします。

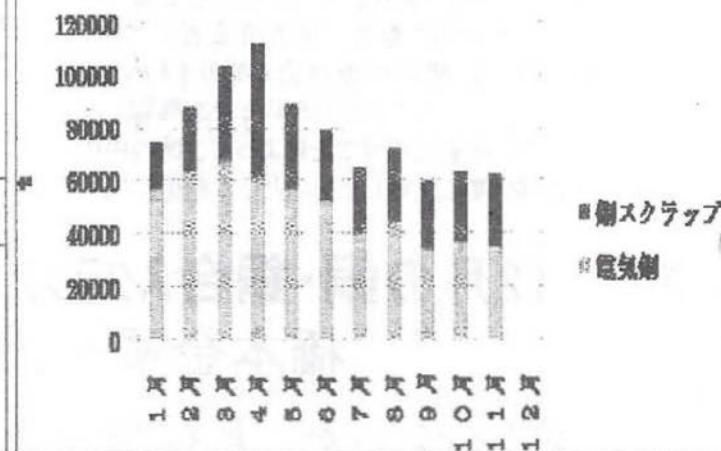
## 株式会社 ナニワ特殊金属

フレキシビリティ & チャレンジ

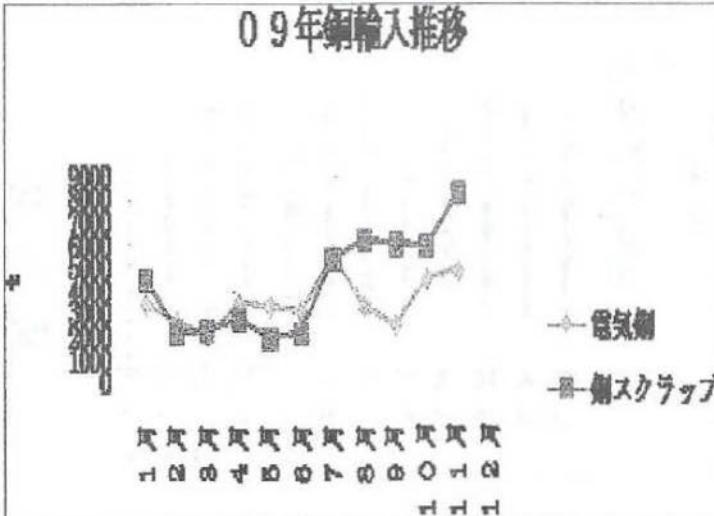
新設住宅(戸数・前年同月比)



09年銅輸出推移



09年銅輸入推移



伸銅品生産推移

